

防災週間

9月1日は防災の日です。西日本豪雨災害から5年が経ちましたが、被害の爪あととは未だに消えていません。あの日を忘れることはなく、防災への意識を高めることが命を守ることに繋がっていきます。防災用品などを用意することだけでなく、日頃から自分たちの住んでいる地域はどんな災害が予測されるのかなどを知っておくことや避難場所までの経路などについて家族で話しておくとういでしょう。

おねがい

新年度や入園時に、家庭状況表を提出していただいておりますが、添付していただいております保険証、こども医療費受給者証に変更がある場合(有効期限がきれているものは、早急に新しいものと差し替えをお願いします。よろしくお願いいたします。

保育園の前の川においてみると・・・  
あっ！何かいるよ



絵の具あそび  
いろんなところにかいちゃお～



なつあそび

ファイナーレ

夢中になれること



花壇やプランターの  
花を使って色水作り



こぼれたしゃぼん玉液をこすると・・・



スイカ！スイカ！

保育園の畑でできた  
スイカは全部で7個  
給食の先生がフルーツポンチを  
作ってくれました  
スイカの器すてきだね★

ツルが茶色く  
なって  
枯れてきたら  
収穫のとき！



スイカの器を使って  
作ったランタン



あそびの中で得られるもの

今年の夏は猛暑日といわれる日が続き、体調を崩したり下痢が続く子や、熱が上がったり下がったりを繰り返し、長くお休みするお子さんもありました。

暑さで園庭や畑の野菜も葉っぱが茶色くなって枯れかけていたり、実がついても変色しているものや割れたりするものもありました。いつもうまくいくことばかりではありませんので、こんなときは、子どもたちと一緒に野菜に目を向け、「野菜も暑くて疲れたのかね」など感謝の気持ちが持てるように声かけをしたところです。

また、裏の畑では、地域の方が暑い中、畑のお世話をしてくださったので、7個のスイカを収穫することが出来ました。給食の先生がスイカの中身をくりぬき、器を作り、そこへフルーツポンチを入れておやつに出してくれました。目で楽しみ味わい、さらにスイカでのあそびが広がりました。

私たちは、子どもたちが遊ぶ様子を見ながら、今子どもたちは何に興味を持っているのか、たのしいと感じているのかを見極めながら保育を進めています。今年の夏も、夏だからこそ思いきり楽しめるあそびを充実させられるように、年齢や発達に合わせて環境を準備したり、変化させたりしてきました。先日、園庭に絵の具やローラー、筆、ダンボール、長い紙などを並べておくと、1・2歳児が集まってきて、筆やローラーを手に、紙や流木、タイヤに絵の具を塗り始めました。夢中で遊んでいる姿を見ながら、自分で選んだり考えることができるような環境を作ることが、子どもたちのやる気を刺激するのだなと思いました。

自分でイメージしたことや興味を持ったことに取り組み、実現しようと考えたり、工夫していると、「今度はこうしてみよう」と次々に新しい考えが働きます。こんな時に大人は、「もっとこうするといいよ」など失敗しないように、遊び方や使い方を教えようとするのですが、子どもたちが自分で考え、工夫しようとしているときは、何も言わずに見守る姿勢をとることが大切だと思います。自分の思いを楽しんでいるときはあそびが持続し、満足感、達成感を味わえるのです。あそび終わった後でお子さんに「たのしかったね」と共感しながら声をかけてあげると、大人に認められたことで子どもたちの自信に繋がります。また、夢中であそび体験を通して、難しいことにぶつかったときに諦めずに創意工夫しながら粘り強く取り組んだり、自分のやりたいことを口に出して伝えようとする意欲につながります。

9月30日(土)小学校との合同運動会を行います。幼児クラスの子どもたちは身体を動かす事が楽しくて、ホールで平均台を渡ったり、巧技台に上がったり、そこからジャンプすることにチャレンジしています。また、夏まつりで盆踊りを踊ったことから、踊ることが好きになり、音楽に合わせて様々な手具を持ち表現することを楽しんでいます。できるようになったことを「みてみて」と周りの人に見てもらおうことで、今より少し高い目標を持つようになります。

日常の保育からつながる運動会になるように、子どもたちや職員と対話しながら準備を進めているところです。

園長